

海洋人間学雑誌第6巻特別号掲載論文の一部加筆のお知らせ

海洋人間学雑誌第6巻特別号掲載論文「幼児期からの海辺の体験活動 ～子どもたちがうみともだちになれますように～」著者：齋藤 雄, 6(suppl):5-8. の8ページ左段13-17行目および引用文献に、以下の一部加筆が生じたので、お知らせします。

加筆前

幼児期という意欲や好奇心を育み、心と体を大きくしていく大切な時期に、海とふれあうことは大きな意味を持つと感じます。アメリカの生物学者レイチェル・カーソンは、著書「センスオブワンダー」で次のように記しています。

引用文献

1) 東山明、東山直美:子どもの絵は何を語るか 発達科学の視点から.NHK ブックス,1999.

加筆後 ※赤字部分

事業を通して見られた絵の変化は、渡部ら²⁾が報告した内容と同じような傾向を示しており、幼児期という意欲や好奇心を育み、心と体を大きくしていく大切な時期に、海とふれあうことは大きな意味を持つと感じます。アメリカの生物学者レイチェル・L. カーソンは、著書「センス・オブ・ワンダー」³⁾で次のように記しています。

引用文献

- 1) 東山明、東山直美：子どもの絵は何を語るか 発達科学の視点から, NHK ブックス, 1999.
- 2) 渡部かなえ, 海野義明：海辺の自然体験活動後に子どもが描いた絵画の質的分析, 海洋人間学雑誌, 3(1):17-23, 2014.
- 3) レイチェル・L. カーソン：センス・オブ・ワンダー, 上遠 恵子 (訳), 新潮社, 1996.

なお、日本海洋人間学会ホームページ上からダウンロード可能である海洋人間学雑誌第6巻特別号の pdf ファイルは、上記の加筆が施されたファイル（ファイル名：jpn_j_marit_activity_vol6_suppl_ver2）に更新されています。

2018年4月27日

日本海洋人間学会 会長 神田 一郎
編集委員長 松本 秀夫